



【一学期 始業式】

満開の桜の下、校庭で実施することができました。新年度のスタートにあたり、以下のような話をしました。



いよいよ今日から 令和7年度、新しい学年のスタートです。坂東小学校のみなさん、進級おめでとう。

3月の修了式で、校長先生から春休みの宿題を2つ出しました。覚えてくれているでしょうか？

一つ目は、学校が休みになる11日間、安全を心がけて「大切な命を守り抜く」ということでした。事故があったという連絡は一件もなく、こうして全員そろえたということは、この宿題は大丈夫です。

二つ目は、春休み中に「新しい学年での目標を立てる」ということでした。今日、この場に「こんな一年にしたい」「こんなことができるようになりたい」「こんな人になりたい」など、新しい学年での目標をもって集まることができたでしょうか？ 自分の未来をイメージして、それに近づけるように、意識をしながら生活していくことが大切です。「朝、早起きができるようにする」とか「毎日読書をする」などの小さな目標でも構いません。一つできるようになったら、また次の目標を決めて頑張る、これをくり返すことで成長することができます。今からでも遅くはないので、自分が進む方向をはっきりさせ、良いスタートが切れるようにしてみてください。

昨年、いろいろな集会のたびに言い続けてきた、校長先生からの3つのお願いがありました。今年度も、それは変わらず大切にしていってほしいと思っていますので、もう一度確認します。

一つ目は、「元気にあいさつをする」ということです。あいさつは、良い関係づくりの第一歩です。良いあいさつが、良い一日をつくり、良い人生にもつながると信じています。校長先生も昨年同様、毎朝校門のところに立って、皆さんとあいさつを交わしたいと思います。爽やかなあいさつが響き渡る坂東小学校を目指していきましょう。

二つ目は、「思いやりをもって人と接する」ということです。人は、一人では生きていくことができません。みんなで支え合うことで、生きていくことができます。だからこそ、周りの人たちへの思いやりと感謝の気持ちを忘れずにいてください。他の人の良いところを見つけて、みんなに優しく、誰とでも仲良くできる人であってください。いじめのない、誰もが安心して生活できる坂東小学校を目指していきましょう。

三つ目は、春休みの宿題でもあった「大切な命を守り抜く」ということです。健康で、元気な体は何より大切です。事故に遭ったら、やりたいこともできなくなってしまいます。事故で、この中の誰かがいなくなってしまうなどということが、絶対にあってはなりません。いつでも安全を心がけて、「自分の命は自分で守れる」ようにしていってください。事故がなく、いつでもみんなの笑顔がそろった坂東小学校を目指していきましょう。

今日入学する1年生は66人。坂東小学校の児童は432人となります。新学期に向けて準備をする先生たちの姿、新入生のための準備をしてくれた6年生の姿、そして今日ここに集まったみんなの姿を見て、良い一年になりそうだなと思いました。力を合わせて素晴らしい坂東小学校をつくっていきましょう。

毎回、同じような話になってしまいましたが、子供たちはしっかりと聞いてくれました。「あいさつ」「思いやり」そして「安全（命を守る）」が学校づくりの基本であると考えています。保護者や地域の皆様とも、この思いを共有し、子供たちの健やかな成長を一緒に見守っていかれたらと思っています。温かいご支援、ご協力を今年度もよろしくお願いします。